

やまきたまち 議会 だより

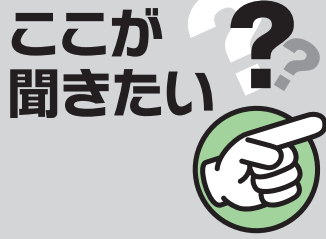
議会のおと

- P 2 ~ 3 ... 消防団機能再編へ
- P 5 ~ 13 ... 9名の議員が町政を問う
- P 14 ... 議員定数削減へ



議会ホームページは
こちらから

ガッツ野球! (ぐみの木近隣公園にて)
山北少年野球クラブ (関連記事は裏表紙に)



定例会・臨時会 3回目も集団接種へ

11月臨時会 (11月25日)	内 容
商 品 券 特 別 会 計	プレミアム付商品券追加発行による一般会計からの繰入金(1528万円)
地 域 振 興 推 進 事 業	公共交通 (路線バス) 事業者緊急支援金 バスロケーションシステム (バスの位置情報、遅延時間、乗客の密集状態をスマホ等に提供するもの) 導入の支援 (100万円)
12月定例会 (12月6日~8日)	内 容
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス ワ ク チ ン 接 種 体 制 確 保 事 業	3回目のコロナワクチン接種 (1017万円)
鳥 獣 害 対 策 事 業	駆除助成金・有害鳥獣捕獲奨励補助金 駆除予定数746頭 (112万円)
観 光 振 興 事 業	山北体育館跡地駐車場整備工事 (69万円)
ふるさと応援寄附金 推 進 事 業	ふるさと応援寄附金謝礼品・業務代行委託料 ポータルサイトを2社から4社へ (1億3609万円)
下 水 道 事 業 特 別 会 計	使用料の減少による一般会計からの繰入金 (2500万円)
12月臨時会 (12月13日)	内 容
子 育 て 世 帯 へ の 臨 時 特 別 給 付 金 事 業	子育て世帯への臨時特別給付金 (1億1156万円)
給 食 事 業	排気ファン更新工事 川村小学校給食室大型換気扇の故障による交換 (180万円)



コロナワクチン
3回目接種

コールセンターなどの
対応は

保険健康課長 前回は、上

郡5町共同で受付対応して
いたが、今回は、町独自で
専用回線を設け対応する
予定である。

また、前回同様に健康福
祉センターを集団接種会場
とする予定である。

追加発行の経緯は

プレミアム付商
品券の追加発行

商工観光課長 令和3年に

発行されたプレミアム付商
品券(プレミア率50%)は
好評で追加発行が必要とな
った。予想は難しく、予定
数1万2000冊のところ
1万8002冊となった。



子育て世帯臨時特別給付金

給付金の振込はいつになるのか

10万円給付の方法はどう考えているか

どのような使い方をするのか

山北体育館跡地 駐車場整備

福祉課長 年内の最終支払日の12月27日に、現在児童手当を受給されている約700名に振り込む予定である。なお、公務員の子や高校生、年度内に生まれた方については、令和3年度内に振り込む予定である。

町長 国の動向を見て10万円の現金一括給付が可能であれば、27日に支給したいと考えている。

生涯学習課長 木材高騰もあり、新体育施設の実施設計予算要求を見送ったので、大野山等ハイカーも増えている関係で、臨時的に観光・町民向け無料駐車場として利用する。

下水道事業

一般会計から繰り入れた理由は

上下水道課長 コロナの影響で大口企業からの収入が減少している。利用減に対応して、3年ごとに料金改定を予定していたが、コロナ禍で遅れている。



消防団 機能再編へ

条例改正

ここがポイント!

- 第12分団(丹沢湖)と第15分団(玄倉)の再編統合
- 機能別消防団員の導入
- 出勤報酬の創設

機能別消防団員の導入

なり手確保の見込みはあるのか

総務防災課長 昼間のみなど限定的な消防団員であり、26名の定員で考えているが、すでに14名の推薦をもらっている状況である。

出勤報酬の創設

出勤時間、終了時間のカウント確認の方法は

大きな災害時はかなりの金額になるが上限は

総務防災課長 通常訓練は集合号令等の時間で判断するが、火災の場合はケースが色々あり、分団長会議で今後議論していく。

総務防災課長 団員のなり手不足を解消するためであるため、出勤したものは対応していく。災害時は特別交付税で対応できると考えている。

議案等審議の結果

第5回 臨時会 (11月25日)

件名	審議結果	件名	審議結果
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・令和3年の人事院勧告に基づき、職員の給与を改定するもの	可決	令和3年度商品券特別会計補正予算(第3号) ・プレミアム付商品券に係る経費の増で、歳入歳出それぞれ4529万円増額し、予算の総額を1億5196万円とする	可決 (賛成多数)
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 ・令和3年の人事院勧告に基づき、任期付職員の給与を改定するもの	可決	令和3年度水道事業会計補正予算(第1号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決
令和3年度一般会計補正予算(第8号) ・人事院勧告に伴う人件費の補正と新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の増で、歳入歳出それぞれ941万円増額し、予算の総額を59億2304万円とする	可決	専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第7号)) ・10月31日執行の衆議院議員総選挙に対応するため、専決処分したもの	承認
令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) ・人事院勧告等に伴う人件費の補正をするもの	可決		

第4回 定例会 (12月6日～8日)

件名	審議結果	件名	審議結果
税条例の一部を改正する条例の制定 ・地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正するもの	可決	令和3年度一般会計補正予算(第9号) ・主に新型コロナワクチン接種3回目の経費の追加とふるさと応援寄附金に係る増で、歳入歳出それぞれ2億6827万円を増額し、予算の総額を61億9132万円とする	可決
消防団条例の一部を改正する条例 ・第12・15分団の再編統合、機能別消防団員の導入及び出動報酬の創設に伴い、改正するもの	可決	令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第3号) ・主に下水道使用料の減に伴い補正をするもの	可決
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 ・消防団に機能別消防団員を新たに導入することに伴い、特定の消防団活動のみを担う機能別消防団員を、退職報償金の支給対象者から除くために、改正するもの	可決 (賛成多数)	令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・主に介護予防・生活支援サービス利用の増に伴うもので、歳入歳出それぞれ459万円を増額し、予算の総額を12億9124万円とする	可決

第6回 臨時会 (12月13日)

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度一般会計補正予算(第10号) ・主に子育て世帯への臨時特別給付金事業による増で、歳入歳出それぞれ1億1300万円を増額し、予算の総額を63億432万円とする	可決		

☆賛成・反対があった議案(第5回臨時会)

議案件名	議員名(議席順)												
	瀬戸恵津子	山崎政司	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	府川輝夫	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
令和3年度商品券特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

☆賛成・反対があった議案(第4回定例会)

議案件名	議員名(議席順)												
	瀬戸恵津子	山崎政司	和田成功	熊澤友子	鈴木登志子	瀬戸顯弘	瀬戸伸二	清水明	府川輝夫	遠藤和秀	堀口恵一	富田陽子	石田照子
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対を表しています。児玉洋一議長は、採決に加わりません。

問 一貫教育保育を活かすために園の統合を
答 保護者のニーズを把握し慎重に検討する



府川 輝夫 議員

答 教育課程推進の中核となる研究会の設置、幼児期から児童期への滑らかな接続のカリキュラム作成、異校間交流の更なる推進の検討は、今までの積み上げを基にまとめた。

問 一貫教育の取組みは。

今年度の「山北の教育」で、園・学校の連続した質の高い教育と切れ目のない支援の充実を目的に、0歳から15歳までの一貫教育・保育を進めると宣言している。
 一貫教育を、より効果的に実現するために質問する。



ALTの授業風景

成果は、豊かに生き、未来を開拓し、郷土を愛し、町の将来に関わる人材の育成である。

このため、学校教育課と福祉課子ども支援班の担当課を一元化する。

特長は、チーム山北となり、子どもの成長をトータルで見守り支える教育保育環境の整備。

関わり、自分らしく生きる人間力と社会力の育成。

問 一貫教育の目的と特長、期待する成果は。

答 目的は、社会の中で他者と

問 未就園児も対象か。

答 家庭の幼児も、一貫教育の子どもたちと考える。

問 未就園児を含め、15歳までの連続した英語教育の充実は。

答 小・中学校の英語教員とALTが連携し、授業を行う。

今後は、未就園児の異文化体験も考える。

問 小学校高学年の教科担当制の導入は。

答 今年度は、音楽、図工、家庭科に加え、外国語と理科も導入した。

当面は特定の教科だが、授業の質の向上と中学校への滑らかな接続となり、教員の負担軽減にもつながる。

問 園を統合し、質の高い教育・保育体制を。

答 保護者の要望や子どもの人数を考慮し、質を向上させるため、慎重に考える。

山北町の0歳から5歳までの人口推移

年齢	今年度	10年前	減少人口
0歳	31	51	20
1歳	25	60	35
2歳	44	73	29
3歳	40	61	21
4歳	45	56	11
5歳	46	73	27
計	231	374	143

※0歳は、今年度も10年前も10月31日時点

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 人口減少対策に子育て支援の更なる充実を 答 ニーズに対応する施策を推進していく



和田 成功 議員



子育て支援等をさらに充実させ、次代を担う子どもたちが健康に育つことができる環境づくりや、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境整備など、「子どもに優しいまちづくり」を推進することにより、町のイメージアップなどにも寄与するものと考え、昨年に続き改めて問う。



3・4・5歳園児の完全給食実施に向けて有償か？無償か？それが問題だ！

問 令和2年第4回定例会の一般質問において、幼稚園・保育園・こども園の3・4・5歳園児への完全給食実施に向けて質問した際には、「慎重に検討する」との回答であったが、現在の検討状況は。

答 完全給食の実施を見据えて、保護者、子ども、町、それぞれの立場におけるメリット・デメリットの洗い出しや、保護者への聞き取り等を踏まえ、令和4年度からの実施に向けて検討を進めている。

答 その時々々のニーズに対応した施策を展開してきた。今後は、それぞれの質の向上を図るため、まずは、令和4年度から、放課後児童クラブの負担金について、低所得世帯やひとり親世帯の減免制度の創設など、きめ細やかなニーズに対応するための施策を推進していきたい。

問 子育て支援施策等の更なる拡充が重要であると考えるが、今後の具体的な取り組みの計画は。



ニーズに対応した子育て支援施策を(児童クラブ)

問 子育て世代を中心とした移住促進に取り組む必要があると思うが。

答 水上地区では、水上住宅の再編整備に着手し、将来的には、向原保育園を同地区へ移転することで、地域ぐるみで子育て世代増加の新たな起爆剤となるよう、事業を進めていく。



◀移住定住の新たな起爆剤と期待される水上地区(向原)

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 人口減少の歯止め対策を 答 宅地分譲開発のインフラ整備



遠藤 和秀 議員

山北町の人口は、昭和30年の1万6689人をピークに減少が続いている。「人口問題研究所」の推計によると、令和27年には、4813人になると言われている。昨年実施した「国勢調査」で山北町の人口減少率は県内で最も高かった。人口減少の歯止め対策が必要と思ふ質問する。

問 魅力豊かな自然環境を活かした住宅として、ヒルズタウン丸山は好事例と言える。人口減少対策としての取り組みの考えは。

答 ヒルズタウン丸山は令和3年3月に全ての契約が成立した。今後も他地区で新たな宅地分譲を進めるため、道路等のインフラ整備を行い、民間事業者の宅地開発が行いやすいようにしていく。

問 三保・清水地区にデマンドタクシーの試行運転を実施しているが、今後の見込みは。

答 多くの町民にご利用いただいております。需要の高さを改めて感じている。今後どのような運行形態が適しているか検証していきたい。



デマンドタクシー

問 町内循環バスの本数が少なく、待つ時間が長く不便、増便する考えは。

答 バス2台は常に稼働している状況であり、増便する場合、新たな車両の確保が必要となり、現状では難しい。運行ダイヤの見直しを考える。

問 東山北1000計画のこれまでの成果は。水上住宅の近隣地権者に、早めの説明を行うべきでは。

答 原耕地地区に大型商業施設を誘致し、今後水上住宅の整備も進めていく。保育園の移転、周辺整備計画を土地利用研究会の役員と連携を密にしながらか周知していく。



水上住宅の近隣地域

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 山北駅周辺と商店街に魅力をもたらす戦略を
答 重点的な支援を実施する



瀬戸 恵津子 議員

平成26年に子育て世代を対象とした町営住宅サンライズやまきたが山北駅前に建設された。商業施設も整備され、起爆剤としての期待もあったが、商店街は閉店の店舗が散見される。当町ではコロナ禍により、自然を愛する方や起業する方等の移住もあり、明るい兆しもある。そこで、商店街の景観を今後とも維持し、空き店舗を活用することについての考え方を問う。

問 昭和のレトロ感のある商店街として、取り組む計画はあるか。

答 駅関連の景観計画は特にないが、空き店舗の利活用に対しては、町の持続化補助金の対象として支援している。新規開店や貸会議室等新たな活用がある。景観を維持し今後も重点的に支援する。



昭和レトロ感のある山北駅前

問 国の補助金を活用し、意欲ある方に財政支援を進めるべきではないか。

答 国の商店街振興策を利用するには商店街の活性化を中心的に担う方や、店主の中でリーダーシップを発揮してもらえる方の存在が支援の要件とするケースがあり、今後は、そのような人材を育成することを考えている。

問 駅のトイレは誰でも使いやすく、観光立町としてふさわしい建物とするべきでは。

答 JR東海は無人駅にはトイレは設置しない事が基本だが、町として存続してもらっている。環境整備については要望していくが、町として建設できるかについては検討する。

問 駅前の街路灯は商工振興会が管理していたが、商工振興会が解散したため、今後の街路灯の維持管理に対してはどのように考えるか。

答 道路灯として町が管理し、商店と協力して残していく。



安全・安心のために街路灯の維持管理を

問 時代に合った災害対策を 答 新たな総合防災訓練を予定している



瀬戸 伸二 議員

近年温暖化の影響により、台風の大型化や線状降水帯が発生し日本各地で災害が起きている。もはや時間降水量100ミリの時代が到来したと言っても過言ではなからう。

町の大雨に伴う治水・土砂災害対策は、時代に適合しているのだろうか。災害は、何時、何処で起こるかわからない。よって万全の準備が必要と考え質問する。

問 ハザードマップは町民と町とで危険箇所の認識の共有はできているのか。

答 国土交通省が定める「土砂災害ハザードマップ作成ガイドライン」の指針に沿って、周知に努めている。

問 防災官の取り組み実績と、防災に特化した専門部署の設置に向けての考えは。

答 防災官の主な実績は、

- ① 「ハザードマップの更新」
- ② 「岸連合自治会(※)HUG(ハグ)訓練にコントローラーとして参加」

③ 「町職員対象の防災図上訓練の企画・実施」

④ 「防災教育授業へ講師として参加」

⑤ 「風水害を想定した山北総合防災訓練の企画」

⑥ 「境町・村上市との災害時応援協定の締結」などである。

専門部署は、地域や自治会と密接に連携できる事務分掌を考えている。

問 町長は座談会等で、地域防災リーダーの必要性を述べているが具現化できるのか。

答 連合自治会の単位で地域防災リーダーの設置を考えている。先進的な他市町の事例、自治会の意向等を確認しながら、慎重に取り組んでいく。

問 民有地(農地)被災の支援についての考えは。

答 国の事業に採択されない災害については、被災状況や周辺への影響など個別に判断し、町単独事業として復旧支援ができるよう、可能な限り柔軟な対応を考えている。

※HUG訓練とは、ゲーム形式で避難所運営を疑似体験する訓練のこと



災害時に有効活用が期待できるドローン

問 地球温暖化防止に具体的な施策対応を

答 温暖化対策の区域施策編を策定する



堀口 恵一 議員

世界レベルで地球温暖化の悪影響が顕著になってきている。

町の第5次総合計画（後期）の基本計画の中に「地球温暖化防止対策の推進」と「新エネルギー導入の推進」がある。

それに対する具体的な施策対応が希薄だと思うので質問する。

問 「地球温暖化防止対策の推進」の現状と今後の見通しは。

答 H V車両導入、執務室LED化、町民への省エネ啓発、生ごみ処理機の購入費補助、町内循環バス利用の呼び掛けなどを行っている。

今後は、法律で定める区域施策編を策定し、町域全体の方針を示していく。また、気候変動適応計画についても検討していく。



購入費の補助をしている生ごみ処理機の例

問 「新エネルギー導入の推進」の現状と今後の見通しは。

答 町内7箇所の避難所施設では太陽光発電システムを、さくら湯、ぶなの湯では木質バイオマス燃料の活用を検討している。今後これらの実現に向け取り組んでいく。

問 新ストープ、宅配ボックス、他8件の補助金制度を推進しては。

答 住民ニーズや国等の補助メニューとの併用も含め、検討していきたい。

問 御殿場線の利用促進に向け、提案をする。

- ① 町内3駅へのデマンドタクシーの整備
- ② 山北駅近コンビニでのICカード販売
- ③ JRエリアまたぎ問題解決案（※またぎボックスを用いる方法）

答 ①現在試行している清水・三保地区を対象としたデマンドタクシーと併せて検討する。

②駅での切符販売で良いと考える。

③またぎ問題は、JR東海へ問題解決を引き続き要望する。

問 高速道路の南向き法面での太陽光発電はどうか。

答 中日本高速道路(株)では「法令で定める法面の点検が困難であるため設置は難しい。」との回答であった。



太陽光発電に有効活用が難しいとされる高速道路法面

※またぎボックスとは国府津駅ホーム上に設置するICカードチェック端末で、希望者のみが利用して下車時ICカード清算できるようにする方法（今回提案）



石田 照子 議員

問 デジタル社会をみすえ 危険箇所の把握は住民の力を借りて 答 写真による通報の導入を検討する

インフラの劣化や、危険箇所を職員だけで把握することには限界がある。

そこで、住民の力や、デジタルを活用し、限りあるマンパワーを補うことができれば、職員の負担軽減につながる。同時に、危険箇所の迅速な対応が可能になる。

また、国の「デジタル田園都市国家構想」は、デジタル技術の活用により地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な社会を実現させる地方創生戦略の1つであり、当町にとっては大きなチャンスと思い質問する。

問

国は、行政のあらゆるサービスを100%デジタル化に向けた取り組みを進めている。

また、2021年国内スマートフォン比率は9割以上のデータが出ています。(NTTドコモモバイル社会研究所調査)

デジタル化に向けた対策を取るべきではないのか。

答

現在、あんしんメールは約4000名の方が利用している。双方向で送受信できるようになれば、写真を添付した情報も集められると思う。

LINE等のSNSも可能性はあるが、受ける方の準備も必要と考える。



交通標識は見やすく

問

月にどのくらいの通報があるのか。また、その内容は。

答

通報は主に自治会長からで、2〜3件ほどの連絡をいただいている。

道路の損傷や側溝のつまり、街灯の球切れ、草刈りに関するものが多い。

問

回答では「費用対効果や職員の負担の影響を勘案し、写真による通報の仕組みについての導入も検討していく」とあるが、遊具の不具合は、費用対効果などと言っている場合ではない。

答

重大事案に関することは、しっかり対応していく。



子どもの安全・安心はみんなの力で

問 目指せ 日本一の投票率の町

答 ニーズがあれば慎重に検討していく



富田 陽子 議員

当町は、令和3年10月の衆議院議員総選挙では、県内1位の投票率の高さであり、住民の選挙・政治に関する意識が高く誇ることができる。だが、9年前の衆議院議員総選挙の投票率は70%を超え、投票する人が減っていることが伺える。

若年層の政治離れに加え、高齢化に伴い、投票所に自力で行くことができない人が年々増えていることが要因ではないか。1票を投じる負担が大きいことは、政治に社会的弱者の声を汲むことができない重大な問題である。

課題を解決し、投票率の向上を目指し、政治参画日本一の町へと思いを問う。

移動期日前投票カーとは??

- 投票所まで距離が離れ、交通手段の確保が難しい有権者の投票機会の確保のため、車内に投票箱と記載台が設けられ期日前に投票できる仕組み
- 近隣では平成30年より箱根町が導入
- 全国では218の団体が移動期日前投票カーを含む移動支援を実施している

問 当日投票に行きたくても行けないという声を多数聞いた。期日前に移動式投票カーを走らせるなど、投票しやすい環境を整えては。

答 二重投票を防止する対策が必要となる。また、この場合には不測の事態に対応できる職員が新たに必要で、現在の職員数では困難である。

問 要介護認定を受けた方や障害者手帳をお持ちの方等、自力で投票所に行くことが困難な方を把握できているのか。

答 把握していない。

問 共和の福祉バスや社協のお出かけ号などを活用し、当日投票所へ行けるような工夫をしては。

答 要望が多ければ検討していきたい。

問 身近なテーマ、地域の課題を自ら考え、伝え相手の意見を聞き、話し合うことが、政治に関心を持つ一歩と考える。

答 小学校では子ども議会を行い、子どもたちの提言で新たに副教材が取り入れられた例もある。中学校では、生徒会選挙の際は本物の投票箱や記載台を貸し出し、リアルな選挙を体験している。

山北町の衆議院議員選挙 投票率

	投票率	県内順位
R 3年 (2021)	67.77%	1位
H29年 (2017)	65.81%	1位
H26年 (2014)	65.65%	1位
H24年 (2012)	71.59%	1位
H21年 (2009)	79.37%	1位
H17年 (2005)	75.33%	2位

住民が日本一積極的に
政治参画する町へ!!

問 声なき声が届いていますか

答 声なき声を集めるよう取り組む



清水 明 議員

誰にとっても住みやすい町づくりに努める町長をはじめとする町職員の努力に敬意を表するところである。

人権相談でも相談件数が少ないということであるが、実態がどうなのか。

声なき声を聞き取るのは私たちが議員のすべきことだが、行政の役割でもあると思い、質問する。

問 パートナーシップ制度が南足柄市、大井町、松田町で実施されている。
当町の取り組みは。

答 令和4年4月から「山北町パートナーシップ宣言制度」の開始を予定している。

公営住宅の申し込みや税証明書の発行、介護保険認定代理申請、生命保険の受取人指定や携帯電話の家族割の適用、入院・手術時の同意などができるようにする。
あわせて入籍していない「事実婚」も同様の取り扱いをする。

パートナーシップ制度とは

同性のカップルを「婚姻に準ずる関係」と公認し、お互いをパートナーと定義する制度。

「パートナーシップ制度＝法律上の婚姻関係」でないという点で法的拘束力がなく、地域限定ではあるが受けられる制度やサービスが増えている。



外国語 ペラペラです

問 外国の方々が山北町に居住、通勤されているが、フォロワーについてどのように取り組んでいるか。

答 現状では、外国人の方々が相談で来庁された場合は、総合案内で要件を伺い、相談内容に応じて担当課に案内する対応をとっている。

令和2年から総合案内窓口に音声翻訳機を設置している。

問 ここ数年話題に上っている（※）「ヤングケアラー」について実態を把握しているか。

答 現段階では、ヤングケアラーに該当する事例の把握には至っていない。

事例が発生した場合、「声なき声」となってしまわないよう、様々な組織と連携を図り、情報収集に努め、把握した場合には適切な介護サービスや障がいサービスの利用を含め、必要な相談・支援に積極的に取り組んでいく。

（※）通学や仕事の傍ら、障がいや病気のある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話をしている18歳未満の子どものこと

原稿は、質問者本人が作成しています。

議会のあり方検討委員会報告

議員定数削減へ 委員会の方針決定！

議員定数のあるべき姿は、議会アンケートやおしゃべりCafeなどの町民のみなさまとの対話の中での意見を重んじ、全議員による全体会議で繰り返し議論をしてきました。

議員定数を考える上で、論点となった事項及び現状維持や削減する考えの主な意見をお伝えします。

なお、議長は、オブザーバーとして出席しています。

1. 民意の吸収・監視機能

- ★維持の発言
他の町村に比べ課題が山積
- ★削減の発言
議会が一丸となり議会力を維持

2. 議会運営と委員会運営

- ★維持の発言
議会機能の維持には14人、委員会活動の活性化には7人が最低でも必要
- ★削減の発言
委員会運営は1人減の6人でも議論でき、2つの常任委員会構成は12人で議会活動できる



議員定数を考える 4つの視点

3. 議員のなり手不足

- ★維持の発言
定数削減により議員のなり手は更に深刻になる
- ★削減の発言
より資質の高い議員が生まれる

4. 町民の声に対して

- ★維持の発言
ここで定数を削減しても、更に削減の声が出てくる
- ★削減の発言
人口減少が進む中、定数削減の意見を尊重する

議員定数 委員会の方針

令和3年12月24日の議会のあり方検討委員会の、議員定数のあり方の議論結果は、「議員定数を削減する」方向となりました。

更に、今後も引き続き町民のみなさまとの会話を深め、令和4年3月までに、町議会として最終的な結論を出すこととしました。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe



議会では、皆さんとの意見交換の場を増やすことを目的に、毎月20日におしゃべりCafeを、そして随時、各種団体との出張おしゃべりCafeを開催しています。



10月20日 山北駅前「Cafe NICO」にて

- ◆ パークゴルフは500円で1日遊べて良い。
- ◆ 議会だよりは、文字数の多いところは、読むのが嫌になる。
- ◆ 議員定数は状況（人口）からして減らすべき。議員は、活動しているところを町民に見せるのが下手である。
- ◆ 大野山山頂で、肥料になるような材料で瓦投げ等をしてはどうか。富士山も見えてとてもよいところである。

※当日の様子などを記載したおしゃべりCafe通信はホームページでご覧いただけます。



出張 移住者の皆さんと 10月9日 健康福祉センターにて

- ◆ 子どもの医療費がかからず、入院の際300円で済んだ。
- ◆ 蛇口から出た水がとても美味しく、移住を決めた。
- ◆ 都会には何でもあり過ぎる。不便さを楽しんでいる。
- ◆ 小児科、産婦人科が近くになく不安。
- ◆ 町で取り組む子育て支援や、観光等1つのパンフレットにまとめ、各所に置いたらどうか。
- ◆ 保育園の延長保育を7時までにはできないか。

No.207 議会のおと 広報モニターアンケート

議会広報モニターによるアンケート回答の一部をご紹介します。

内部紙面について

◆ 「議員発議とは」の用語解説部分は、枠で囲んだほうが、パッと見て分かりやすいのでは。

◆ 定例会や決算審議のページは、町の課題や問題、支援や助成が、どうしてこのような形になったのか分かりやすかった。



表紙・裏表紙

◆ サッカーに興じる子どもたちの動きが良くとらえられている。撮影場所を書いてほしい。



その他ご意見

◆ 紙面的には、できていることをしている気がする。あとは、内容について話す動画公開など、わかりやすくする。あり方が考えられる。ホームページをスマホでも見やすくする。

一般質問について

◆ 回答が不明確である。議員にはもっと突っ込んだ回答を町側から得ていただきたい。これでは、単なる質問の場に過ぎない。

◆ 今回の一般質問は各町議それぞれのもので読みやすかった。

※全集計結果は、ホームページに掲載しています。



活きいきひろば

野球を通して友情の輪を広げる

山北少年野球クラブ

監督 瀬戸 宏一さん



山北少年野球クラブは、1985年9月に発足し創部36周年を迎えました。小学校1年生から6年生まで19名（男子16名、女子3名）の部員と20名のコーチで、毎週土日にごみの木近隣公園とスポーツ広場のグラウンドで活動しています。

当クラブのモットーは「ガッツ野球!」。苦しい時も辛い時も気持ちを前面に出して、全力プレーを心掛けています。野球を通じて礼儀作法、努力・忍耐、継続する力、思いやりを学びます。選手の力を引き出し、故障しない体力・動作の指導に努めています。少年野球は、野球を通じて礼儀作法やチームワークの大切さを学び、仲間との友情の輪を広げる場です。昨今、他のスポーツの普及により子どもたちの選択肢が多く、野球人口が減少しておりますが、子どもたちに少しでも野球の楽しさ、野球の素晴らしさを伝えることが少年野球の役割であり、今後も継続していくことが地域の活性化に繋がります。

これからも子どもたち・保護者・指導者が一丸となり、チーム関係者の皆様が楽しく野球ができるチーム作りを目指します。



編集後記

令和4年初めての「議会のおと」(208号)をお届けします。

昨年は、初夏から秋口にかけて新型コロナウイルス感染症が爆発的に増加し、緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発出され、日常生活に大きな影響を受けました。

秋以降、感染者が減少に転じ経済活動も復活の兆しが見え始めた矢先、南アフリカで発見されたオミクロン株が瞬く間に世界中に拡散し、まだまだ安心して生活できる日常には戻っていません。引き続き「新しい生活様式」を実践し、感染防止に努めていただきたいと思います。

議会は、町民皆様の生活を守る一翼を担い、将来のまちづくりに向け、今後も積極的に議会活動に取り組んでまいります。

「議会のおと」も見やすく・分かりやすく・正確な情報をお伝えするよう取り組みます。

(山崎政司)

議会の傍聴においでください

第1回定例会(予定)

3月4日(金)~

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 75-3653
議会事務局

議会ホームページ

山北町ホームページ
→町議会のアイコンをクリック



- | | | | |
|---|---|---|---|
| 広 | 副 | 会 | 広 |
| 報 | 会 | 長 | 報 |
| 分 | 長 | | 分 |
| 科 | 員 | | 科 |
| 会 | | | 会 |
| 水 | 山 | 堀 | 清 |
| 明 | 崎 | 口 | 水 |
| | 政 | 恵 | |
| | 司 | 一 | |
| | 功 | 司 | |
| | 夫 | 明 | |
| | 子 | | |